

語いと英語教育(18)

Teacher Talk (3)

- Teacher Talk と言語機能 -

1995年2月20日

東京都中学校英語教育研究会

研 究 部

目 次

・ あいさつ	1
・ 研究経過	2
・ TEACHER TALK (3)	5
(1) 本年度の研究に至る過程	5
(2) 本年度の研究過程	5
(3) Teacher Talk の機能別発話分析	6
(4) Teacher Talk と未習語い	15
(5) 今後の課題	19
(6) 資 料 1 Teaching Plans	20
2 未習語いリスト	46
・ 参考文献	49
・ 編集後記	50

．あいさつ

語いと英語教育（第18集）の発行にあたって

東京都中学校英語教育研究会 会長 長谷川 昇

東京都中学校英語教育研究会（都中英研）の研究部が、平成6年度一年間の地道な研究成果をまとめ、ここに「語いと英語教育」（第18集）を発表するにあたり、研究部の先生方のご尽力とご苦労に対して、心から敬意を表し、厚くお礼申し上げます。

さて、本年度は学習指導要領完全実施2年目。英語科では、(1)外国語を理解し、外国語で表現する能力の育成(2)外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成(3)言語や文化に対する関心を深め、国際理解の基礎を培うという目標に向かって、多くの先生方が様々な実践を通して、その成果を上げておられます。それらのご努力に敬意を表するとともに、各区市中英研の研究実践を都中英研全体の共有財産にしながら、それらの輪がますます広がっていくことを願っています。

ところで昭和51年度から中英研の諸先輩の先生方から受け継がれてきた研究の成果「英語教師のニードとその資料1～2」「外国語と英語教育1～6」「語いと英語教育7～17」をふまえて、本年度の研究が進められてきました。特に昭和63年度からは「日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式」をテーマに授業における教師の発話 - Teacher Talk を授業改善の切り口として、積極的に活用するという新たな研究課題に取り組んで3年目に当たります。

毎月一回、研究部の先生方が各自自分の授業をVTRに撮り、それらを持ち寄ってその中で出てくる表現 "Teacher Talk" をきめ細かく分析しています。この研究はまさしく、コミュニケーション能力・態度を育てるための「新しい授業、望ましい授業」への熱意ある共同研究・共同実践であると思います。今までの研究成果とともに、本年度の研究を都中英研の先生方一人ひとりが、毎日の授業の中で充分活用され、さらに東京都全体の中学校英語教育の発展・充実に役立つものに育てて頂ければと願ってやみません。

終わりにになりましたが、研究部長の長勝彦先生を始め、研究部の先生方の並々ならぬご尽力・ご努力に対して、そして、今までいろいろとご指導・ご助言くださいました諸先輩、また、温かくご声援を送って頂きました方々に重ねて、心から感謝申し上げます。

研究経過

東京都中学校英語教育研究会・研究部では、1976年（昭和51年）より下記のような研究を継続的に行ってきた。今年度の研究もこの延長線上にあるものである。 (A

= 日本人同志の Team Teaching B = 日本人と外国人との Team Teaching)

- 1976（昭和51）年度 「英語教師のニードとその資料源」
研究授業者：森永 誠（北区立赤羽台中学校）
- 1977（昭和52）年度 「英語教師のニードとその資料源 その2」
「外来語と英語教育（1）」
- 小学校高学年教科書に現れた外来語リスト -
A 研究授業者：里見 光昭氏・宗政 剛郷（千代田区立麹町中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1978（昭和53）年度 「外来語と英語教育（2）」
- 中学校英語教科書に現れた外来語リスト -
研究授業者：野中 清（江東区立深川第二中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1979（昭和54）年度 「外来語と英語教育（3）」
- 外来語の強勢付加によっておこる変化 -
A 研究授業者：萩野 浩氏・須田 昌義（千代田区立一橋中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1980（昭和55）年度 「外来語と英語教育（4）」
- 英語の意味別頻度と外来語・英語の意味とのかさなり -
研究授業者：後関 正明（墨田区立両国中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1981（昭和56）年度 「外来語と英語教育（5）」
- フォニックス（つづり字と発音のルール） -
研究授業者：小林 幸子（千代田区立錬成中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1982（昭和57）年度 「外来語と英語教育（6）」
- 選定語いについて -
研究授業者：小西 照明（足立区立伊興中学校）
指導講師：堀口 俊一（東京学芸大学）
- 1983（昭和58）年度 「語いと英語教育（7）」
- 選定語い（2）・発表語い（1）・外来語と英語教育（7） -
研究授業者：長 勝彦（江東区立第三亀戸中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京外国語大学）

1984 (昭和59) 年度 「語いと英語教育(8)」

- 発表語い(2) 1. 生徒の立場からみた
- 2. 教師の立場からみた 外来語と英語教育(8) -
- 研究授業者: 蔦原 秀子(新宿区立西戸山中学校)
- 指導講師: 森住 衛(大妻女子大学)

1985 (昭和60) 年度 「語いと英語教育(9)」

- 「英語基本語い1000語」と「補足460語・外来語(英語)400語」Interim Report
- 「外来語と英語教育(9)」言葉遊びをとり入れての指導実践例 -
- 研究授業者: 長 勝彦(墨田区立両国中学校)
- 指導講師: 若林 俊輔(東京外国語大学)

1986 (昭和61) 年度 「語いと英語教育(10)」

- A. 英語・基本語い1000語・Appendices
- B. 授業の中でどのように語いをふやすか
- C. CLT (Communicative Language Teaching) について
- 1. CLT 研究の必要性
- 2. CLT の共通特徴
- 3. 日本の教育現場におけるCLT の取扱い方
- 4. CLT に必要な諸要素
- 5. 教師の果たす役割と活動
- 6. 学習者理解 -
- B 研究授業者: 日臺 滋之・Ms. Yvonne Broekman (Australia)
- (新宿区立牛込第三中学校)
- 指導講師: 隅部 直光(大妻女子大学)

1987 (昭和62) 年度 「語いと英語教育(11)」

- A. 基本語いの定着化
- 授業の中でどのように語いをふやすか (Part 2) -
- (Bingo Game, Guess Work, Pair Work & Skit を行って)
- B. CLT (Communicative Language Teaching) と CF (Communicative Functions)
- について - 東京都公立中学校で使用されている4種類の教科書に現れる
- Functions (言語機能)/Forms (言語形式) の学年別 Function List - C.
- Assistant English Teacher に関するアンケート調査のまとめ
- AET 導入の年数・採用方法・派遣状況・派遣時数・その他 -
- B 研究授業者: 青木 弘子・Mr. Phillip Roberts (Australia)
- (新宿区立牛込第三中学校)
- 指導講師: 塩澤 利雄(宇都宮大学)

1988 (昭和63) 年度 「語いと英語教育(12)」

- A. NHK ラジオ続基礎英語(1986.4 ~ 1987.3) の dialogs に現れる
- 伝達機能とその言語形式
- B. 日常の授業で活用できる伝達機能とその言語形式
- (1) 意志を伴う機能

- (2) 感情を伴う機能
- (3) 相手の行為に影響を与える機能
- (4) 挨拶等社交上の機能

B 研究授業者：福井 康真・Ms. Robarta Schudrick (U.S.A.)
 (千代田区立九段中学校)
 指導講師：萩野 浩 (聖徳短期大学)

1989 (平成元年) 年度 「 語いと英語教育 (13) 」

CLT(Communicative Language Teaching) と CF(Communicative Functions)
 について東京都公立中学校で使用されている 4 種類の教科書に現れる
 Functions (言語機能) / 例文の List
 A 研究授業者：鶴田 峰子・太郎良 博 (大田区立南六郷中学校)
 指導講師：斎藤 誠毅 (神奈川大学)

1990 (平成 2 年) 年度 「 語いと英語教育 (14) 」

A. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式 (続)
 - 実情報にかかわる機能 -
 B. 東京都公立中学校における英語教育実態調査報告
 A 研究授業者：山本 展子・Mr. Frank Berberich (江東区立深川第七中学校)
 指導講師：島岡 丘 (筑波大学)

1991 (平成 3 年) 年度 「 語いと英語教育 (15) 」

日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式 (続々)
 - 意志・感情にかかわる機能の言語形式の Register について -
 研究授業者：二宮 正男 (狛江市立第一中学校)
 指導講師：青木 昭六 (愛知学院大学)

1992 (平成 4 年) 年度 「 語いと英語教育 (16) 」

A. Teacher Talk (1)
 B. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式
 - 意志・感情にかかわる機能の言語形式の Register に対する Native
 Speaker の Comments -
 研究授業者：北原 延晃 (杉並区立和田中学校)
 指導講師：上田 明子 (津田塾女子大学)

1993 (平成 5 年) 年度

第17回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会東京大会 (第 3 分科会)
 Teacher Talk (1) 研究授業者：杉本 薫 (墨田区立両国中学校)
 指導講師：若林 俊輔 (東京外国語大学)

1993 (平成 5 年) 年度

A. Teacher Talk (2)
 研究授業者：重松 靖 (府中市立第七中学校)
 指導講師：金谷 憲 (東京学芸大学)

・ TEACHER TALK (3)

(1) 本年度の研究に至る過程

『語いと英語教育(10)』では今までの文法・構造中心の授業だけでは真の伝達能力の育成にはつながっていないという反省に立って Communicative Language Teaching を取り上げた。

『語いと英語教育(11)』～『語いと英語教育(14)』では Language Functions (言語機能) と Language Forms (言語形式) を調査・研究してきた。言語機能に応じている色々な場面で適切な言語形式を用いて表現できることがコミュニケーション能力の育成につながると考えた。

『語いと英語教育(12)』と『語いと英語教育(14)』では Language Functions と Language Forms を日常の授業で活用できるように整理した。前者では意志・感情等にかかわる機能、後者では実情報にかかわる機能を取りあげ、各学年で使用可能な言語形式の recommended list を作成した。

『語いと英語教育(15)』では意志・感情等にかかわる機能(意志を伴う機能 感情を伴う機能 相手の行為に影響を与える機能 挨拶等社交上の機能) の言語形式の register (言語の使用域) についての調査・研究をした。Native speakers に対してアンケート調査を行い、それをもとに Formal, Neutral, Informal の list を作成した。

『語いと英語教育(16)』では、授業の各場面で、教師は生徒にどのような言葉を使っているのかを研究した。研究部員の授業を VTR に録画し、Teacher Talk に焦点を当てて表現を拾い出した。

『語いと英語教育(17)』では Teacher Talk の必要性及び活用を検討するとともに『語いと英語教育(16)』で拾い出した表現を意志・感情等にかかわる機能について分析した。

(2) 本年度の研究過程

本年度は Teacher Talk について 3 年目の研究を迎えた。昨年度の 5 つの授業で出てこなかった機能は他の授業でも出てくる可能性が低いのか、それらの機能を意識して授業を進めた場合、どの程度の言語機能が網羅できるのかを考え、今年度はなるべく多くの Teacher Talk を集め分析してみた。

表にしたのは昨年度の 5 つの授業に加えた合計 12 の授業の分析結果である。

さらに、Teacher Talk に現れた未習語いを拾い出してみた。

(3) Teacher Talk の機能別発話に関する分析

分析を行った授業

今回分析をまとめた12の授業は指導時期の順に以下のように整理番号をつけた。2、3、5、8、9の授業については昨年度「語いと英語教育(17)」で分析したものを再収録した。右端の「資料」は上段が指導案、下段が未習語いリストの参照頁を示す。

	授業の時期	授業形態及び主な言語活動	学校(研究会等)	授業者	資料
1	1992.6.22 1年1学期	Are you - ?を用いた Guess work, Pair work	三鷹市立第四中学校 五市共催研究会研究授業	阿久津仁史	20 46
2	1993.11.5 1年2学期	What の疑問文 Group Work	墨田区立錦糸中学校 関東甲信地区 中学校英語教育研究協議会東京大会	石井 亨	22 46
3	1993.11.5 1年2学期	現在進行形を含むスキットの練習	墨田区立両国中学校 関東甲信地区 中学校英語教育研究協議会東京大会	杉本 薫	24 46
4	1994.1.24 1年3学期	can, can not の導入	墨田区立錦糸中学校 墨田区立中学校 教育研究会英語部研究授業	石井 亨	26 46
5	1992.2.18 1年3学期	スキット作り～練習～発表 ビデオ再生による評価	狛江市立狛江一中学校 東京都中学校 英語教育研究会研究部研究発表会	二宮 正男	28
6	1994.2.21 1年3学期	一般動詞過去形の疑問文 pair work	足立区立第三中学校 東京都英語科研究員地区発表会	三浦 邦彦	30 47
7	1994.10.7 2年2学期	Will you - ? Shall I - ? の導入	立川市立立川第二中学校 東京都英語科研究員部会	横山 牧子	32 47
8	1993.2.18 2年3学期	Listening, Reading 中心の授業	杉並区立和田中学校 東京都中学校 英語教育研究会研究部研究発表会	北原 延晃	34 47
9	1993.6.24 3年1学期	Team Teaching による 現在完了形の導入	杉並区立中瀬中学校 杉並区立済美研究所研究授業	日臺 滋之	38 47
10	1994.6.5 3年1学期	Listening 中心の授業	板橋区立向原中学校 校内研修会	伊地知義信	40 48
11	1994.10.6 3年2学期	関係代名詞 which 目的格復習 現在分詞の形容詞的用法導入	板橋区立板橋第四中学校 日常の授業	米田 隆	42 48
12	1993.11.14 3年2学期	間接疑問文 S + V+ Wh- 節の導入	足立区立第一中学校 校内研修会	土居由起子	44 48

分析の方法

Teacher Talkの分析は、対象の授業における教師の発話を記録ビデオよりすべて収集し、次のような4種類30項目について分類を行い、その傾向について考察する方法で進められた。

1 Expressing & finding out intellectual attitudes 意志を伴う機能

- 1.1 expressing & asking for ideas, opinions, agreement or certainty 考え、意見、同意や確実性について述べる / たずねる
- 1.2 expressing & inquiring about intention or lack of intention 意志の有無を述べる / たずねる
- 1.3 expressing & inquiring about possibility or impossibility 可能性の有無を述べる / たずねる
- 1.4 expressing & inquiring about ability or inability 能力の有無を述べる / たずねる
- 1.5 expressing & inquiring about obligation or absence of obligation 義務の有無を述べる / たずねる
- 1.6 seeking, giving & withholding permission 許可を求める / 与える / 留保する
- 1.7 offering to do something & reacting to it 何かをするように申し出る / それに応える
- 1.8 offering something & reacting to it 何かを差し出す / それに応える

2 Expressing & finding out emotional attitudes 感情を伴う機能

- 2.1 expressing & inquiring about liking, disliking, interest or lack of interest 好き嫌い / 興味の有無について述べる / たずねる
- 2.2 expressing pleasure, displeasure, satisfaction or dissatisfaction 喜び / 不快 / 満足 / 不満足を述べる
- 2.3 expressing compliments, praises, approval, appreciation or admiration 賛辞 / 称賛 / 同意 / 理解 / 尊敬を述べる
- 2.4 expressing & inquiring about desire or lack of desire 希望の有無について述べる / たずねる
- 2.5 expressing & responding to apology 謝罪する / それに応える
- 2.6 expressing & responding to gratitude 感謝する / それに応える
- 2.7 expressing sympathy or carefulness 同情や心配を述べる
- 2.8 expressing feelings 気分を述べる
- 2.9 expressing anxiety 不安を述べる
- 2.10 expressing embarrassment 当惑を述べる
- 2.11 expressing surprise 驚きを述べる

3 Getting things done 相手の行為に影響を与える機能

- 3.1 making suggestions & reacting to it 提案をする / それに応える
- 3.2 requesting others to do or not to do something & reacting to it 人にあることをする / しないように依頼する / それに応える
- 3.3 inviting others to do something & reacting to it 人にあることをするように誘う / それに応える
- 3.4 advising others to do or not to do something & reacting to it 人にあることをする / しないように忠告する / それに応える
- 3.5 directing others to do or not to do something & reacting to it 人にあることをする / しないように命じる / それに応える

4 Socializing 挨拶など社交上の機能

4.1 greeting people あいさつ

4.2 leave taking 別れのあいさつ

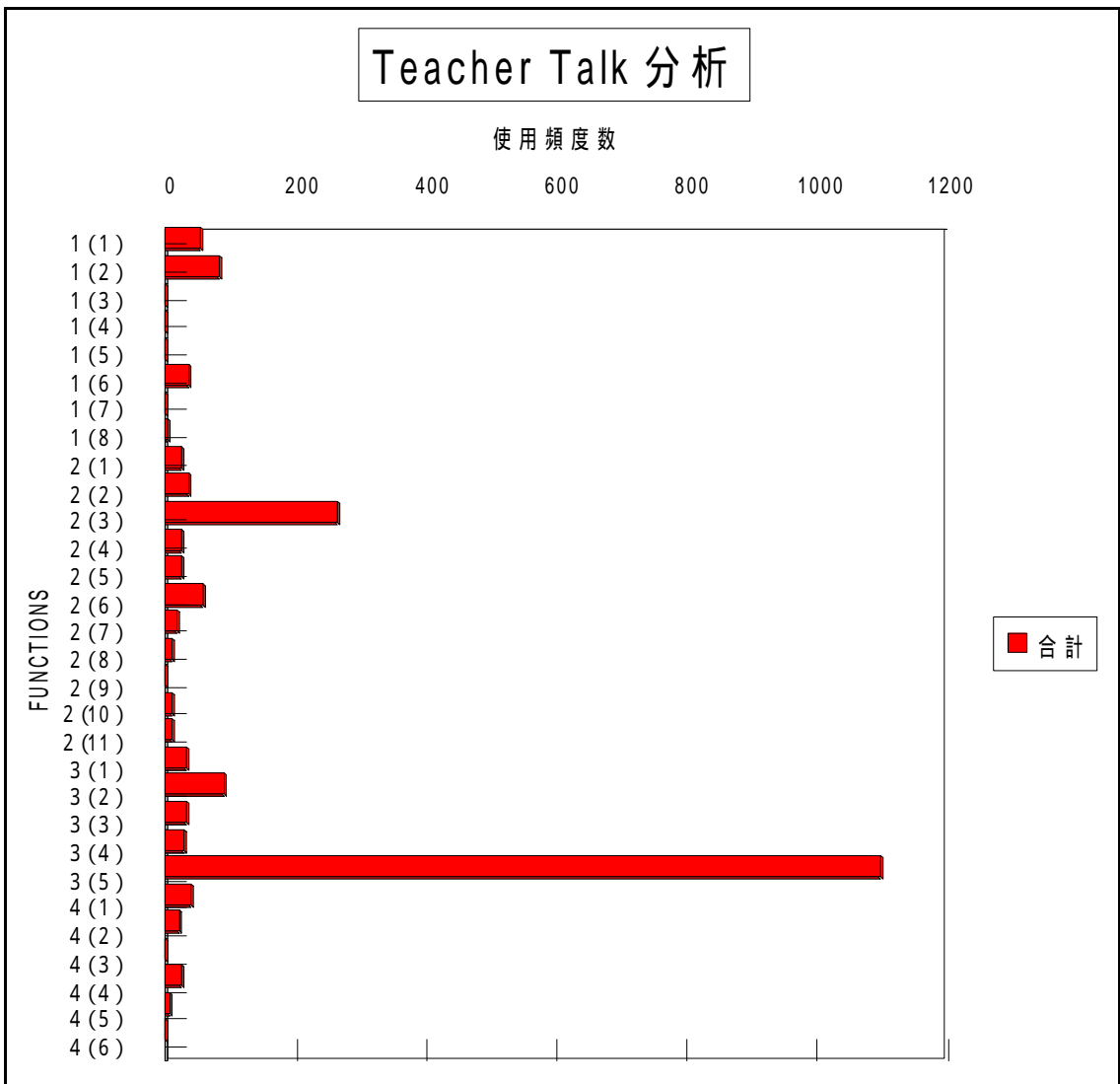
4.3 introducing oneself & others 紹介

4.4 attracting attention 気を引く

4.5 congratulating 祝う

4.6 telephone formulas 電話の決まり文句

TeacherTalk 機能別発話の分析結果（グラフ）



TeacherTalk 機能別発話の分析結果（使用頻度数）

機能	合計												
		1 阿久津	2 石井	3 杉本	4 石井2	5 二宮	6 三浦	7 横山	8 北原	9 日台	10 伊地知	11 米田	12 土居
1 (1)	58	0	0	3	4	2	0	0	17	19	1	11	1
1 (2)	85	0	5	8	6	5	16	1	16	20	3	1	4
1 (3)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
1 (4)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
1 (5)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
1 (6)	37	0	8	7	0	0	0	0	14	6	1	0	1
1 (7)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
1 (8)	7	0	0	0	1	0	2	0	1	2	0	0	1
2 (1)	28	0	5	10	2	0	7	0	1	0	0	0	3
2 (2)	38	0	0	5	0	0	0	0	1	6	1	23	2
2 (3)	265	12	9	17	29	18	51	6	27	48	14	8	26
2 (4)	27	0	15	0	0	1	0	2	0	8	1	0	0
2 (5)	27	0	2	1	2	1	6	1	5	8	1	0	0
2 (6)	60	5	2	2	3	1	18	2	2	16	1	0	8
2 (7)	20	0	1	3	0	0	8	2	3	1	1	0	1
2 (8)	12	0	4	0	2	0	0	4	1	0	0	0	1
2 (9)	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
2 (10)	13	0	0	1	0	0	0	1	5	4	0	1	1
2 (11)	11	1	1	1	0	1	1	0	3	1	0	1	1
3 (1)	35	0	0	3	0	4	0	2	7	9	2	7	1
3 (2)	91	0	0	0	0	0	8	2	3	76	1	0	1
3 (3)	35	0	5	8	0	2	1	0	4	0	13	1	1
3 (4)	31	0	5	4	0	3	0	0	3	4	2	10	0
3 (5)	1100	48	139	159	168	39	101	33	81	154	55	54	69
4 (1)	42	3	4	3	4	8	4	2	2	5	3	1	3
4 (2)	22	2	2	1	3	2	2	0	1	3	2	1	3
4 (3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 (4)	28	0	0	4	0	4	0	0	8	10	0	0	2
4 (5)	8	0	2	0	0	2	0	3	1	0	0	0	0
4 (6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2089	72	209	240	224	93	225	61	208	400	104	122	131

分析にあたって留意したこと

データ分析については集計の方法、分類の方法など試行錯誤をくり返すこととなったが、次のような点に特に留意して、分析を進めることとした。

- a. データ分析は「意思を伴う機能・感情を伴う機能・相手の行為に影響を与える機能・挨拶等社交上の機能」（8～9ページ参照）をもとに行った。
- b. 分類を行うにあたり、明らかに生徒に対する指示・命令として使われている“Let's -”という表現は、本来 LANGUAGE FORM 上は [3.3 inviting others to do something & reacting to it (人にあることをするように誘う / それに応える)] に分類されるべきものだが、FUNCTION を優先して [3.5 directing others to do or not to do something & reacting to it (人にあることをする / しないように命じる / それに応える)] に分類することとした。
- c. “O.K.” “All right.” “(Are you) Ready ?” についてはどの授業でもかなり多用されており、言語機能上は教師の指示や発言の「確認」を意図しているのだが、今回の分類表には該当するものが見当たらないため、分析の対象からはずした。
- d. 同じ発言（同じ文）をくり返し続けて言っている場合は、1回と数えた。
- e. 記録ビデオの録音音声の関係で、机間指導中の個々の生徒に対して行った小さな声での発話は拾いきれていないものもある。
- f. 生徒の呼名のみはカウントしていない。

今回の調査における TEACHER TALK についての分析（全体的な傾向として）

- a. 前回同様に、全体を通じて圧倒的に多いのが [3.5 directing others to do or not to do something & reacting to it (人にあることをする / しないように命じる / それに応える)] である。一斉授業の中での生徒に対する指示・命令であるから当然の結果ではあるが、頻度については授業形態・内容・指導段階などによって違いがでてくる。たとえば、生徒が授業の流れを知っていれば頻度数は比較的少なくなる（例 北原39% 日台38%）。他は50%以上がほとんどである。一方、石井は一回目が66%に対して、二回目は75%になっている。二回目の方の授業形態が個々の生徒に言わせたり、やらせたり場面が多かったためである。
- b. 次に多いのは [2.3 expressing compliments, praises, approval, appreciation or admiration (賛辞 / 称賛 / 同意 / 理解 / 尊敬を述べる)] である。生徒を励まし、意欲を引き出すためにも多く使われている。また、三浦に比較的多く使われている [2.6] は expressing & responding to gratitude (感謝する / それに応える) という機能であるが、これも生徒を励まし、意欲を引き出す役割を果たすこともある。
- c. 頻度数の特に少なかった機能および使われなかった機能は次の7項目である。
 - 1.3 expressing & inquiring about possibility or impossibility (可能性の有無を述べる / たずねる)
 - 1.4 expressing & inquiring about ability or inability (能力の有無を述べる / たずねる)
 - 1.5 expressing & inquiring about obligation or absence of obligation (義務の有無を述べる / たずねる)

- 1.7 offering to do something & reacting to it (何かをするように申し出る / それに応える)
- 2.9 expressing anxiety (不安を述べる)
- 4.3 introducing oneself & others (紹介)
- 4.6 telephone formulas (電話の決まり文句)

これらについては、授業の内容、話題、指導方法を工夫することによって、使用頻度を高めることも可能であり、今後の研究課題である。

今回の調査における TEACHER TALK についての分析 (個々の授業について)

授業 1 (阿久津 1 年生 1 学期)

ゼロの機能数 23

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合	66%
ほめ言葉 [2.3] の割合	17%

特に Teacher Talk や Function を意識しないで行った授業である。

授業 2 (石井 1 年生 2 学期)

ゼロの機能数 10

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合	66%
ほめ言葉 [2.3] の割合	4%

- ・ [2.2 expressing pleasure, displeasure, satisfaction, or dissatisfaction (喜び / 不快 / 満足 / 不満足を述べる)] が多いのは全体分析でも指摘した通り授業の内容・話題に深く関わっているためである。
- ・ 指示・命令の割合が高いのは、生徒の活動の段階を一つずつ区切りながら指導しているためである。

授業 3 (杉本 1 年生 2 学期)

ゼロの機能数 8

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合	66%
ほめ言葉 [2.3] の割合	7%

- ・ [2.1 expressing & inquiring about liking, disliking, interest, or lack of interest (好き嫌い / 興味の有無について述べる / 尋ねる)] が多いのは全体分析でも指摘した通り授業の内容・話題に深く関わっているためである。
- ・ 一斉授業の形態がほとんどであるため、指示・命令の割合が高い。

授業 4 (石井 1年生 3学期)

ゼロの機能数 19

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合 75 %
ほめ言葉 [2.3] の割合 13 %

- ・ [3.5] の割合が高いのは28人の生徒を1人ずつ座らせる指示をする場面があった。さらに教科書の新出語や本文などを繰り返させることが多かったため。昨年に関口の授業では[2.3] の機能が4%と少なかったため、この授業では意識的に増やしてみた結果、13%にまで増やすことができた。
- ・ can, can't に関する項目 [1.3] 可能性, [1.4] 能力, [1.6] 許可, [1.7] 申し出、がないのは、can, can't の導入として、動物クイズをしたため、実情報になったから。これらの can の機能を指導するには、そのような場면을授業の中で作らねばならないと思う。

授業 5 (二宮 1年生 3学期)

ゼロの機能数 11

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合 42 %
ほめ言葉 [2.3] の割合 20 %

- ・ 生徒の活動・作業が多い授業のため教師の発話数は少ない。
- ・ 生徒の発表の機会が多い授業なので [2.3 Expressing compliments, praises, approval, appreciation or admiration (賛辞 / 称賛 / 同意 / 理解 / 尊敬を述べる)] が多くなっている。

授業 6 (三浦 1年生 3学期)

ゼロの機能数 16

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合 45 %
ほめ言葉 [2.3] の割合 23 %

- ・ [1.2 expressing & inquiring about intention or lack of intention 意志の有無を述べる / たずねる] が多いのは、guess work や pair work などの生徒の活動があるためである。
- ・ [2.6 expressing & responding to gratitude 感謝する / それに応える] が多いのは生徒へのプリント配布時に意図的に使用しているためである。
- ・ [2.3 expressing compliments, praises, approval, appreciation or admiration (賛辞 / 称賛 / 同意 / 理解 / 尊敬を述べる)] が多いのは生徒の発言・発音に対して意図的に使用しているためである。

授業 7 (横山 1 年 3 学期)

ゼロの機能数 12

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合	54%
ほめ言葉 [2.3] の割合	10%

- ・ いろいろな活動をさせたため、指示・命令の割合が高い。
- ・ 全体の発話数が少ないのは、説明が多かったためか？
- ・ 生徒をいろいろな場面でもっとほめた方が良かった。

授業 8 (北原 2 年生 3 学期)

ゼロの機能数 2

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合	39%
ほめ言葉 [2.3] の割合	13%

- ・ [1.6 seeking, giving, & withholding permission (許可を求める / 与える / 留保する)] が多いのは生徒の到達度に応じた課題を多く用意し、活動の幅を広げたためである。
- ・ [1.1 expressing & asking for ideas, opinions, agreement, or certainty (考え、意見、同意や確実性について述べる / 尋ねる)] と [1.2 expressing & inquiring about intention or lack of intention (意思の有無を述べる / 尋ねる)] が多いのは生徒の活の多様さを示す。

授業 9 (日臺 3 年生 1 学期)

ゼロの機能数 7

全体の発話数に対する指示・命令 [3.5] の割合	38%
ほめ言葉 [2.3] の割合	12%

- ・ A L T (Assistant Language Teacher) との TEAM TEACHING であるため、発話数が非常に多くなっている。
- ・ [3.2 requesting others to do or not to do something & reacting to it (人にあることをする / しないように依頼する / それに応える)] および [2.6 expressing & responding gratitude (感謝する / それに応える)] の使用頻度が高い。これは JTE と ALT との間で発せられたものであるが、生徒に聞かせるように意図されたものである。
- ・ [1.8 offering something & reacting to it (何かを差し出す / それに応える)] は頻度は低いですが、他の人にはない機能である。生徒へのプリント配布時に意図的に使うように工夫された結果現れたものである。

授業10 (伊地知 3年生1学期)

ゼロの機能数 13

全体の発話数に対する指示・命令[3.5]の割合 56%

ほめ言葉 [2.3]の割合 14.2%

-
- ・ [2.3]が多いのは生徒の音読の発表、発音に対して意図的に使用しているためである。
 - ・ [3.3]が多いのは、音読やリスニングの問題で生徒が自発的に手を挙げることを促しているためである。
 - ・ 教師の発話が少ないのは、全体的にリスニング重視の授業を展開しているためである。

授業11 (米田 3年生2学期)

ゼロの機能数 17

全体の発話数に対する指示・命令[3.5]の割合 44%

ほめ言葉 [2.3]の割合 6%

-
- ・ [1.1 expressing & asking for ideas, opinions, agreement, or certainty (考え、意見、同意や確実性について述べる/尋ねる)]が多いのは、新出事項を学習する際に、ピクチャーカードを用いて、推測させているからである。
 - ・ [2.2 expressing pleasure, displeasure, satisfaction or dissatisfaction (喜び/不快/満足/不満足を述べる)]が多いのは、復習事項で、確認作業が多かったためである。

授業12 (土居 3年生2学期)

ゼロの機能数 9

全体の発話数に対する指示・命令[3.5]の割合 53%

ほめ言葉 [2.3]の割合 20%

-
- ・ 生徒の活動を1つ1つ区切り指示を出したため、指示・命令の割合が多い。
 - ・ その、生徒の活動に対する教師の発話としてのほめ言葉の割合も多い。

(4)Teacher Talk と未習語い

本年度の研究

1992年度から Teacher Talk が生徒の語い力（特に receptive vocabulary - 受容語い）をつけるのに役立つと考えて本研究を進めてきた。

実際に英語で授業をするときに感じることは、教科書には出てこないが身の回りの品物を表す語や外来語などをかなり多く使用しているということである。果たして1単位時間にどれほどの数の未習語が使用されているのであろうか。

本年度は教師が教室で使用する英語（Teacher Talk）の中にどれだけ生徒にとっての未習語が含まれているかについて、来年度の研究への橋渡しとしてパイロット調査をした。（ここでの「未習語」の定義は「その授業をするまでに教科書に表れなかった語」とした。）

パイロット調査データ

授業8（2年3学期）北原教諭の Teacher Talk に現れる未習語、既習語の頻度分析一覧

未習語のリスト（ ）内はこの授業で表れた頻度を表す

(2)A little (2)Boss (6)Bosses (3)Change seats (3)Check (1)Circle (2)Congratulations (2)Decide
(1)Excellent (1)Folktale (1)Hello there (1)I'm not sure (2)Mountain climber (1)Paced
(2)Shadowing (4)Sorry (1)Strange (2)Tired (1)Try (1)according the order (1)ahead (1)already
(1)arrange (2)back (1)bench (2)bosses (1)bridge (1)ceiling (1)choose (4)circle (1)confusing
(1)correct (4)criminal (2)cross (1)etiquette (2)folktale (3)folktales (1)forgot (1)sheet
(1)got a cold (1)grammatically (3)happens (2)heard (3)information (1)left hand side (1)loud
(1)loud voice (2)make groups (2)missed (1)move on (1)paper (2)passed (1)point (1)previous
(1)raise (1)remember (2)report (1)review (1)same (1)shy (1)sorry (1)stupid (4)take a memo
(1)the other side (5)tired (1)tough (1)unknown (1)wrestling fan

既習語のリスト

(1)Africa (1)After (1)Again (2)Ah (14)All (6)And (1)Another (1)Answer (9)Are (4)Asia
(1)Ate (2)Attack (2)Away (2)Bean (2)Become (9)Bingo (1)Cat (3)Chinese (1)Climb
(1)Correct (1)Could (2)Dark (2)Do (1)Dog (7)Don't (1)Down (1)Earth (1)Eat (1)Eight

(1)English (1)Europe (4)Everybody (1)Everything (4)Excuse (4)Finished (1)First (1)Five
 (6)For (1)Four (1)Give (1)Glad (2)Go (2)God (4)Good (1)Good-bye (1)Hall (1)Hands
 (2)He (2)Heaven (1)Help (2)Here (1)Hi (1)Hint (8)How (24)I (2)I'll (7)I'm (2)In
 (2)Information (7)Is (2)It (11)It's (3)Japanese (1)Just (10)Korean (1)Lesson (14)Let's(1)Light
 (1)Lights (1)Listen (1)Listening (3)Look (1)Look back (1)Made (1)Make-made-made
 (2)Make pairs (1)More (4)Mr (1)My (2)New (1)New York (1)Nine (10)No (7)No.1 (6)No.2
 (2)No.3 (1)No.4 (1)No.4 (1)No.5 (2)No.6 (1)No.7 (1)No.8 (3)Not (2)Nothing (7)Now
 (1)Number (74)OK (9)Oh (3)Once (1)Once again (4)One (1)Open (1)Pass (1)Perfect
 (14)Please (1)Pray (2)Put (8)Question (1)Reading (1)Ready (1)Really (1)Role-play (1)Rope
 (2)Run (1)Second (2)Section (1)See (2)Seven (1)Shall (1)Shy (1)Sit (1)Six (1)Skiing
 (5)So (1)Softball (1)Some (2)Something (1)Speak up (1)Start (5)Stop (1)Story (1)Strong
 (1)Such (1)Take (1)Take it easy (1)Take out (4)Ten (1)Thank (2)That (4)That's (16)The
 (2)There (1)There's (1)They (4)This (3)Three (3)Throw (1)Tiger (1)To (2)Today (1)Top
 (2)Try (3)Turn (1)Two (3)Under (1)Upon (1)Usual (19)Very (1)Was (7)We (1)Were
 (8)What (1)What about (2)What's (6)When (2)Where (7)Which (1)While (13)Who (10)Yes
 (19)You (2)You're (1)Your(44)a (3)able (3)about (1)afternoon (3)again (1)all (1)also (1)am
 (12)and (1)angry (1)answer (3)answers (1)apple (21)are (1)aren't (1)around (1)arrange (6)as
 (14)at (1)at all (1)ate (1)attacked (3)away (1)back (11)be (1)became (1)become (2)big
 (1)bingo (1)bingoes (1)books (1)boss (1)box (2)boy (1)bright (1)busy (6)but (1)by
 (1)came (5)can (1)can't (1)change (1)check (5)children (1)choose (3)club (3)come
 (1)coming (1)cool (1)correct (1)country(2)dark (8)day (5)desks (4)did (3)didn't (10)do
 (5)don't (1)doesn't work (3)down (1)earth (1)eaten (1)eight (1)enjoyed (1)enough
 (4)everybody (1)example (1)excuse (1)fast (1)fat (1)feelings (5)finish (2)finished (3)first
 (3)five (3)for (2)forgot (2)friends (6)game (1)garden (1)girl (3)give (1)glad (8)go (3)god
 (4)going (18)good (1)got (1)great (1)group (1)groups (2)hair (1)hand (1)happiness (1)happy
 (2)has (14)have (1)haven't (2)he (4)hear (1)heard (1)heaven (5)here (1)high (1)hint
 (1)hot (1)house (1)idea (2)if (2)important (13)in (1)into (37)is (8)it (7)it's (1)kind
 (2)know (10)language (1)large (4)last (1)learned (1)leaves (1)left (1)legs (1)lesson (1)let's
 (2)lights (2)list (6)listen (1)listening (1)long (12)look (2)lot (1)lots (1)loud (1)love
 (2)lucky (2)make pairs (3)many (11)me (1)member (1)mine (2)minutes (1)mistake (1)moon
 (1)mountain (2)much (2)must (2)my (1)need (2)new (1)next (3)no (1)no idea (16)not
 (2)now (1)number (8)of (3)old (1)oldest (4)on (6)one (2)only (2)open (5)or (1)order
 (1)other(1)out (6)over (1)own (1)page (1)pairs (5)paper (2)people (2)picture (3)pictures
 (1)piece (5)play (11)please (1)pleasin (1)pray (1)prays (1)put (1)questions (3)ran (1)reached
 (1)reading (2)ready (1)reason (1)rich (16)right (2)role-playing (3)rope (1)runner (1)sad
 (1)said (7)say (3)see (1)sense (2)seven (1)she (2)sheet (1)short (2)shortest (1)should
 (1)show (1)shy (1)sick (2)side (1)sing (1)singing (1)sit (2)six (4)ski (2)skiing (1)sky
 (1)small (1)soccer (4)some (1)something (1)song (3)stand (1)star (1)start (2)stop (4)story
 (2)strong (1)study (1)take (2)tall (4)tape (2)teachers (1)telling (1)ten (8)textbooks (1)than
 (60)the (1)their (1)then (3)there (1)thin (6)think (5)thinks (3)third (11)this (1)three

(1)throw (4)tiger (7)time (2)times (38)to (3)today (1)tomorrow (1)towards (3)tree (3)try
(3)turn (1)turn over (3)two (12)up (2)upon (1)used (8)very (2)video (1)volleyball (1)waiting
(1)walk (7)want (2)wanted (2)warm (5)was (2)watch (2)way (3)we (1)weak (2)week
(1)welcome (1)well (2)went (1)wet (6)what (4)when (1)which (1)while (5)who (4)will
(1)wind (1)wish (2)with (1)woman (1)won't (1)wonder (1)word (12)words (1)world
(4)write (1)writing (2)written (4)yes (69)you (1)you're (1)young (25)your

授業 8 における未習語についての分析および考察

1. 未習語総数は68語である。

これは教科書には出てこないが教師の指示などで日常繰り返し耳にしているために生徒が理解できる語が相当数含まれているためである。それらの語は1単位時間内での頻度は低くても、継続的に何度も教師が使用したために生徒が受容できた語であると考えられる。

2. 「文部省学習指導要領第2章第9節外国語（英語）別表2」以外の語は63語である。

これは予想以上の数字であった。今後の授業分析数が増えることによりさらに多くの枠外の語が予想される。

3. 外来語としてカウントできる語は49語である。

総未習語数のうちに外来語が過半数を占める。教科書では扱わない語でも生徒の持つ外来語の知識を積極的に活用していくことも考える必要がある。

外来語のカウントには、『コンサイス カタカナ語辞典』（三省堂、1994年に『コンサイス外来語辞典』より改名）を利用した。

(5) 今後の課題

1992年度から始まった Teacher Talk の研究も 3 年目を終わろうとしている。

過去 2 年間は Teacher Talk を Function の観点から研究した。その結果、Teacher Talk に現れる Function の特徴を把握することができるようになっただけでなく、各研究部員の授業においては Function の知識をもとに Teacher Talk を効果的に使用する場面も増加した。

今年度からは生徒の語い力を伸ばす一つの方法として Teacher Talk が役立つのではないかという仮定に立って、Teacher Talk に現れる「語い」とその出現頻度の観点から新たに調査研究を進めた。今後は、出現語いとその頻度の調査を進める一方、Teacher Talk が生徒の語い力形成にどれほど役立つかなどについてもさらに調査研究を進めていきたいと考えている。

また、本研究は東京都中学校英語教育研究会、研究部による以下の先行研究との関わりの中でさらに深めていかねばならないと考えている。

- 『外来語と英語教育(1)』(小学校高学年教科書に現れた外来語リスト)
- 『外来語と英語教育(2)』(中学校英語教科書に現れた外来語リスト)
- 『外来語と英語教育(3)』(外来語の強制付加によっておこる変化)
- 『外来語と英語教育(4)』(英語の意味別頻度と外来語・英語の意味とのかさなり)
- 『外来語と英語教育(5)』(フォニックス(つづり字と発音のルール))
- 『外来語と英語教育(6)』(選定語いについて)
- 『語いと英語教育(7)』(選定語い(2)・発表語い(1))
- 『語いと英語教育(8)』(選定語い(2)・生徒の立場/教師の立場から見た)
- 『語いと英語教育(9)』(「英語基本語い1000語」と「補足460語・外来語(英語)400語」・言葉遊びを取り入れての指導実践例)
- 『語いと英語教育(10)』(A. 英語基本語い1000語・Appendices
B. 授業の中でどのように語いを増やすか
C. Communicative Language Teaching (CLT) について)
- 『語いと英語教育(11)』(A. 基本語いの定着化
B. CLT と Communicative Functions (CF) について
C. AET に関するアンケート調査のまとめ)

(6) Teaching Plans

授業 1 (阿久津)

授業過程	生徒の活動	教師の働きかけ	注意点
1 あいさつ 日常会話 (3 分)	あいさつをする 今日の調子はどうか聞く 天気、曜日、日付を答える	あいさつをする 元気かどうか答える 今日の調子はどうか聞く 天気、曜日、日付を聞く	
2 ビンゴ (4 分)	やろうと答える 単語をチェックする 揃ったらビンゴと言う その本数で手を上げる 拍手する	ビンゴをやろうと言う 単語を読み上げる 何本揃ったか尋ねる 最も早い生徒と最も本数の多い生徒を板書し、拍手するように言う 次回のビンゴを指示する	本数を英語で尋ねて言わせる
3 歌 (3 分)	やろうと答える エーデルワイスを歌う	今月の歌を歌うように言い、歌詞を見ないで歌えるかどうか尋ねる	
4 リズムトレーニング (4 分)	ビデオに合わせて発音練習する ノートを見せる	ビデオを見ながら発音練習をするように言う 宿題のチェックをする	
5 導入 (6 分)	年齢、出身地、クラブについて答える	今日学ぶ単元を言う 年齢、出身地、クラブについて尋ねる	
6 ゲスワーク (6 分)	誰か分かった者は手を挙げて答える	生徒の子供の頃の写真を教材提示器を通して見せながら、当てさせる 必要に応じてヒントを与える	

<p>7 ペアワーク (5分)</p>	<p>やろうと答える 自分の答えを記入する 発音練習をする ペアワークを行う その点数で手を挙げる</p>	<p>ペアワークをやるように言う 発音練習をさせる</p> <p>点数を尋ね、手を挙げさせる</p> <p>最高点の生徒を板書し、拍手するように言う</p>	<p>日本語を使わせないようにする</p>
<p>8 言語材料の説明 (3分)</p>	<p>英語通信を参照する</p>	<p>英語通信を用いて、言語材料の説明をする</p>	
<p>9 Q & A (6分)</p>	<p>質問の答えを全体で答える</p>	<p>前時迄に習った本文の内容に関する質問をする 必要に応じてヒントを与える</p>	<p>質問の難易度を変えていく</p>
<p>10 ビデオ視聴 (2分)</p>	<p>本文のビデオを見る</p>	<p>本文のビデオを見るように言い、日本語を話さないようにも言う</p>	
<p>11 発音練習 (7分)</p>	<p>教師の後に続いて教科書の音読練習をする</p> <p>コーラスで2回ずつ読む ペアで音読練習する</p> <p>個人で一文読み、後に続いてコーラスで音読する</p>	<p>英語通信を用いて、前々時に学んだ場所から復習読みをさせる</p> <p>コーラスだけで2回ずつ読むように言う ペアで音読練習するように言う</p> <p>個人で音読し、後に続いてコーラスで読むように言う</p>	<p>読めない所を繰り返させる</p>
<p>12 課題の提示とあいさつ (1分)</p>	<p>課題を写す</p> <p>終わりの挨拶をする</p>	<p>課題を写すように言う</p> <p>終わりの挨拶をする</p>	

授業 2 (石井)

授業過程	生徒の活動	教師の働きかけ	注意点
<p>1 あいさつ 日常会話 (5分)</p>	<p>あいさつをする 元気かどうか答える 先生はどうか聞く 指名された生徒答える 天気、曜日、日付を聞く 手を上げて答える 何人かが質問する</p>	<p>あいさつをする 今日の調子はどうか聞く 緊張していると答え、君はどうかと聞く 天気、曜日、日付を聞くように言う わざとまちがえ、再度聞く 先生に質問するように言う その質問に答える</p>	
<p>2 ビンゴ (5分)</p>	<p>その単語をチェックする 1本揃ったら「ビンゴ」と言う その本数で手を上げる</p>	<p>単語を読み上げる 7回読み上げて終わる 何本揃ったか手を上げさせる</p>	<p>最初と最高本数の生徒にシールをあげる</p>
<p>3 復習 ペアワーク (5分)</p>	<p>その絵の単語を練習する 手を上げて質問し当てる 洋服、家、靴、テレビ、CDの中で自分が欲しい物を1つ選ぶ 相手の選んだ物を当てるまで交互に質問しあう 終了後、座る 自己評価し紙を集める</p>	<p>洋服、家、靴、テレビ、CDを絵を使って言わせる その中で先生がほしい物を当てるように言う ワークシートを配布する 洋服、家、靴、テレビ、CDの中で欲しい物を1つ選ぶように言う 隣の人とペアを組み、相手の選んだ物を当てさせる 立ち上がり、3ゲームを終えたペアは座るように言う ペアワークの自己評価をするように言い、紙を集める</p>	<p>当てた生徒の班に得点を与える</p>
<p>4 カラオケ (3分)</p>	<p>「Sing」を立てて歌う 自分の席に座る</p>	<p>立ち上がり、ビデオに合わせて歌うように言う 終了後、座るように言う</p>	

<p>5 導入 (5分)</p>	<p>指名された生徒はどれが欲しいかを答える</p> <p>質問に答える</p>	<p>洋服、家、靴、CD、テレビのうちどれが欲しいかをたずねる</p> <p>その生徒が欲しい物を他の生徒にたずねる</p>	
<p>6 グループ・ワーク 「調査隊が行く」 (25分)</p>	<p>自分の欲しい物を書く</p> <p>自分の班員に質問し自分も答える</p> <p>終了後、座る</p> <p>各自が予想して書く</p> <p>英語で分担を決める</p> <p>終了後、座る</p> <p>質問に行く</p> <p>終了後、自分の席に戻る</p> <p>班員にそれぞれが報告する</p> <p>調査結果を集計する</p> <p>何人の男女が何を欲しいかを答える</p> <p>各自の得点を計算する</p> <p>班長が計算し、結果を報告する</p> <p>自己評価し、集める</p> <p>あいさつする</p>	<p>洋服、家、靴、CD、テレビのうち、このクラスの男子女子が一番欲しい物は何かを調査することを言う</p> <p>まず、自分が欲しい物を書くように言う</p> <p>自分の班員に質問するように言う</p> <p>立ち上がり、終わった班から座るように言う</p> <p>今の結果を参考に、このクラスの男・女の一番欲しい物を予想して書かせる</p> <p>誰が他の5つの班に質問に行くかを班内で分担する</p> <p>立ち上がり終わった班から座るように言う</p> <p>他の班へ質問に行き終わったら自分の席に戻るように言う</p> <p>質問の結果を班員に報告するように言う</p> <p>報告後、調査結果を集計するように言う</p> <p>男女が一番欲しい物を聞く</p> <p>予想が当たった人は1につき2点得点であると言う</p> <p>班長が班の得点を計算し、手を上げて結果を報告するように言う</p> <p>自己評価の紙を配る</p> <p>紙を集めるように言う</p> <p>あいさつして終わる</p>	<p>当たれば班の得点になる</p>
<p>7 あいさつ (2分)</p>			

授業 3 (杉本)

	時	指 導 過 程	教 師 の 指 導
復		あいさつ	英語であいさつをする。
	5	BINGO GAME	単語を読み上げ聞き取らせる。 / ゲームは2回行う
習	5	教科書を読む	本文の音読 (全体 / 個人 / ペア) 練習をする。 会話部分については、段階をおった会話練習を行わせる
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を 重 視 し た 活 動	5	PAIR WORK GAME	シートを配布する。 / 今回使用する語彙に注目させる / 基本文、語彙の口頭練習を行う。 / シートに記入させる。 / ゲームを行う。
	15	SKIT 練習 (全体練習)	前時までの教材 (教科書、会話や ORAL PRACTICE 等) をもとにして、SKIT のモデルをまとめる。 SKIT の練習 (モデルを提示 / 発音、音声指導)
	10	SKIT 練習 (ペア練習)	ペアで練習 / 発表させる モデルを手直しして、自分たちの発想でスキット をつくらせる。 ペアで練習させ、発表させる。
ま と め		SKIT 練習のまとめ	今後の SKIT 練習のためのポイントを説明する。
		英語の歌	英語の歌を練習する。
	10	あいさつ	英語であいさつをする。

▪ 評価の観点 1 英語を楽しく使い表現しようという意欲的なとりくみが見られたか

生徒の活動	指導上の留意点
<p>大きな声で元気良くあいさつする</p> <hr/> <p>単語を聞き取りシートに記入し、ゲームを行う</p>	<p>決まり文句も、はっきりと大きな声で言えるように指導したい。</p>
<p>モデルをしっかり聞いて、はっきりと大きな声で練習する 個人/ペアの練習は、集中して徹底的に音読する</p>	<p>自信を持って読めるようになるまで練習させる。</p>
<p>シートを読み語いと英文に注目する/大きな声で口頭練習する/リピートと文形変化の練習/できるだけ英語だけを用いてゲームを行う</p>	<p>効果音楽を使用する。 ポイントを記録させ楽しく参加させる</p>
<p>話題に注目し、口頭練習に積極的に参加する。</p> <p>モデルをよく視聴し、できるだけモデルに近いスキットができるように練習する。</p>	<p>活発な雰囲気作りをめざし、教材・教具にも工夫したい。</p>
<p>ペアで練習し、積極的に発表する。</p> <p>身近な語いを用いて、自分たちらしいSKITを工夫し練習/ 発表する。</p>	<p>一部の単語を入れ替えるだけでも十分に表現力が高まることを指導する。</p>
<p>SKITの仕上げのポイントを確認する。</p>	<p>ニュアンスの理解に重点を</p>
<p>歌の雰囲気を味わいながら、楽しく歌う</p> <hr/> <p>大きな声ではっきりとあいさつする</p>	<p>授業のしめくりにふさわしい雰囲気をもたせたい。</p>

2 現在進行形を用いた表現に慣れ、理解できたか。

授業 4 (石井)

授業過程	生徒の活動	教師の指導	指導上の留意点
1, (1分) あいさつ	その外国語であいさつする	今までに指導した外国語であいさつする	
2, (8分) 質問コーナー	今まで学習した言い方を使って質問する	全員立たせ、先生に質問または先生の質問に答えた者から座るように言う	良い質問、答えをした者を評価する
3, (5分) ビンゴ	読み上げられた単語をチェックする 最初に1本そろった者は手をあげてビンゴと言う 何本かを数える 自分の本数の時に手をあげる	単語を読み上げる 7つずつ単語を読み上げて、終わる 何本そろったかを聞く 最初と最多ビンゴの生徒の名前を言う	最初と最多のビンゴの生徒にシールを与える
4, (15分) 導入	動物名を練習する わかったら、手をあげて答える 先生の後について言う can か can not を答える	動物名を指導する 動物クイズで正解した者の班に得点を与えることを言う(まちがえたらマイナスする) 正解者が出たら、そのクイズのいくつかの文を繰り返させる can と can not の単語を練習する 黒板に表を書き can か cannot を確認しながら入れていく	can を含んだ文を使った動物クイズ

授業 5 (二宮)

指導過程	学習内容	教師の働きかけ	生徒の活動	留意点
	映画鑑賞 "Black Rain"		映画を見て英語の 雰囲気にひたる	英語の授業の 雰囲気をつくる
Warm up 8分	あいさつ カラオケ "Ob-La-Di, Ob-La-Da", or "Daydream Believer" ピンゴゲーム (2回)	英語であいさつを する 英語で簡単な会話を 生徒とかわす 歌いたい英語の歌を 生徒に選ばせる 英語の歌をレーザ ーカラオケで歌う ゲームを行う	英語であいさつを かわす 英語の歌を選ぶ 顔を上げて画面を 歌う ゲームを楽しむ	元気であいさつ をかわす 大きな声で元気よく 歌う 集中して、楽しむ
復習 2分	Oral Interaction 内容理解の確認	絵を使って質問を しながらスキットの 内容を確認する 英語で質問して正しく 理解したか確認する 1.Which is Lucy's? 2.What's her name? 3.Whose cat is this?	教師の質問に英語 で答える 1.The white cat is? 2.Her name is Kittie. 3.That is Lucy's sister's.	集中して聞く 積極的に手を挙げて 答える
展開	音読練習 (T-P) 役割練習 (T-P)	本を開けさせ、スキ ットを通して読む 教師が1つのパート、 生徒がもう1つのパート を読む練習をする	本を見て、教師の 後に続いて読む 教師のパートに応じて 自分のパートを読む	棒読みにならない ように 教師の台詞をよく 聞いて、暗記に終わら ないように。会話にな るように

14分	役割練習(P-P) スキット発表	Eye Contact, Gesture 等のアド ヴァイスをする 評価する	ペア同士で会話の 練習をする 前に出て来て、ス キットを実演する	自分の台詞を言う ときは相手の顔を 見る お互い相手を見て 会話する
発展 18分	Plus-One Dialog スキット練習 スキット発表	Plus-One Dialog について説明指示 を与える 生徒の間を回って ペアにアドヴァイ スをする ビデオに録画する	先に演じたスキッ トにもう1セリフ ずつ付け加えたス キットを作る 自分たちの力で英 語を付け加えて、 スキットの練習を する 前に出てきて、ス キットを実演する	今までに習った表 現を広く利用する How old を使えば 高く評価する お互い相手を見て 会話する
まとめ 8分	スキット鑑賞 と評価 あいさつ	発表されたスキッ トをビデオで鑑賞 して、生徒に自己 評価させる スキットの良かつ た点、改良点など について述べる 英語であいさつを する	自分たちのスキッ トをビデオでみて 評価する 今回の経験を次回 に生かす 英語であいさつを かわす	評価基準をはっき りさせる 失敗や改善点ばか りでなく、良かつ た点にも気付かせ る 元気良くあいさつ

8. 評価

- (1) 授業に楽しく参加できたか。
- (2) 単なる教科書の暗記でなく、自分たちで適切な表現を付け加えてスキットを演ずることができたか。
- (3) 友だちの前でスキットを演ずることができたか。
- (4) 友だちの発表を見て、お互いに適切な評価ができたか。

授業 6 (三浦)

指導過程	生徒の活動	教師の働きかけ	留意点
1 あいさつ (1分)	大きな声ではっきり あいさつをする	英語であいさつをする	気持ちを込め て明るくあい さつする
2 ピンゴ (5分)	単語を聞き取って、シー トにチェックをする	リズムよく単語を読み 上げる 2回ゲームを行う	スピーディー に単語を読み 上げる
3 ゲス ワーク (3分)	単語をよく聞き取り既習 文型を使って積極的に質 問する	色々な文型を使い生徒に質 問させる	意図的に毎時 間使い定着さ せて行きたい
4 復習 ペアワーク (8分)	英語をよく聞いて場面設 定を理解する 1. 大きな声で口頭練習 を行う 2. 固定ペアでの練習 3. オープンペア練習 4. 固定ペアにもどり Total point を数え相 手のポイントを読み自 分のポイントと比べる	ペアワークシートを配布す る リズムよく英語を読みあげ る 英語の指示によりペアを組 ませる 英語の指示によりオープ ンペアでの練習をさせる 英語の指示で固定ペアに戻 らせ相手とポイントを比べ させる	場面設定を意 識させる 机間巡視をし 発音・読みの アドヴァイス アイコンタク トをして会話 ができるよう にする Total point をクラス全体 に聞く
5 復習 教科書を読 む (6分)	1. 前時の単語を Flash card をみて大きな声 で発音する 2. CDの後について 本文を読む 3. 本文の音読練習	Flash card を用いて前時の 単語を発音させる CD を用いて音読練習をさ せる 段階をふまえて練習する	リズムよく発 音練習を行う 抑揚、速さに 注意させる 段階をつけて
6 新教材 ペアワーク (8分)	1. 大きな声で口頭練習 を行う 2. 固定ペアでの練習 3. オープンペア練習 4. 固定ペアにもどり Total point を数え相 手のポイントを読み自 分のポイントと比べる	リズムよく英語を読みあげ る 英語の指示によりペアを組 ませる 英語の指示によりオープン ペアでの練習をさせる 英語の指示で固定ペアに戻 らせ相手とポイントを比べ させる	場面設定を意 識させる 聞き返し・同 意表現などに 注意させる 新出事項の文 型について簡 単に日本語で 説明する Point を聞く

<p>7 口頭導入</p> <p>(5 分)</p>	<p>英語の質問に答えながら本文の内容を理解するよ にする</p>	<p>生徒とのやりとりをしながら黒板に単語、絵などを書き本文の概要をつかめるよ うにする</p>	<p>生徒との英語のやりとりの中で難しいと思われる語についてはやさしく言い換えながら進める</p>
<p>8 新教材教科書を読む</p> <p>(8 分)</p>	<p>1. 新出単語を Flash card をみて発音する</p> <p>2. C D で本文を聞き概要をつかむようにする</p> <p>3. C D の後について本文を読む</p> <p>4. 本文の音読練習</p> <p>5. Key sentence に下線を引く</p>	<p>Flash card を用いて新出単語を発音させる</p> <p>C D で本文を聞かせる</p> <p>1 文を 2 回繰り返して練習させる</p> <p>段階をふまえて練習をする</p> <p>Key sentence 及び本文理解の上で大切な箇所に下線を引かせる</p>	<p>新出語なのでやや、ゆっくりと発音する C D を聞かせ文の抑揚・発音に気をつけさせる</p> <p>文の抑揚、速さに注意させる</p> <p>段階をつけて練習をする</p> <p>家庭学習の補助として下線を引かせる</p>
<p>9 ペアワークを利用して文を書く</p> <p>(3 分)</p>	<p>今日習ったペアワークを利用してノートに文を書く</p>	<p>ノートの書き方の指示をする</p>	<p>単語を入れ換えることにより表現が増やせることを知らせる</p>
<p>10カラオケ</p> <p>(3 分)</p>	<p>テレビの画面を見ながら英語の歌を歌う</p>	<p>席を立ち L D に合わせて大きな声で歌うよう指示をだす英語であいさつをする</p>	<p>授業の終わりにリラックスして、楽しみながら歌えるようにする</p>
<p>11あいさつ</p> <p>(1 分)</p>	<p>大きな声ではっきりと、あいさつをする</p>	<p>英語であいさつをする</p>	<p>気持ちをこめて明るくあいさつする</p>

授業 7 (横山)

指導過程	学習内容	教師の働きかけ	生徒の活動	留意点
Warm-up	<p>あいさつ</p> <p>ビンゴゲ - ム</p> <p>カラオケ "Daydream Believer"</p> <p>Guess Work</p>	<p>英語であいさつをする。</p> <p>ゲ - ムを行う</p> <p>英語の歌をし - ザ カラオケで歌う</p> <p>プリントを使って Guess Work の説明をする</p>	<p>英語であいさつをかわす</p> <p>ゲ - ムを楽しむ</p> <p>楽しんで歌う</p> <p>ペアで質問をしながら、早く相手の答えをあてる</p>	<p>元気よく</p> <p>集中して楽しむ</p> <p>リラックスして歌っているか</p> <p>英語を積極的に使おうとしているか</p>
新出事項	Oral Interaction	<p>教師の持っている箱の中に何が入っているか当てさせる</p> <p>ビデオを身ながら話の内容を確認する</p> <p>英語で質問する</p> <p>1. Where was Kumi?</p>	<p>"Do you have ~ ?" を使って、質問する</p> <p>教師の質問に英語で答える</p> <p>1. At department store.</p>	<p>積極的に手を挙げようとしているか</p> <p>積極的に答えようとしているか</p>

		<p>2. Why Kumi was at there?</p> <p>3. Kumi was looking for the present for whom?</p>	<p>2. She was looking for the birthday present.</p> <p>3. For Kumi's friend.</p>	
展開	<p>音読練習 (T-S)</p> <p>役割練習 (T-S)</p> <p>役割練習 (S-S)</p>	<p>プリントを配って Key Sentence を読む</p> <p>教師が1つのパート、生徒がもう1つのパートを読む練習をする</p> <p>リズム・動きなどをアドバイスする</p>	<p>プリントを見ながら教師の後に続いて読む</p> <p>自分のパートをきちんと読む</p> <p>自分たちで役割を分担して読む練習をする</p>	<p>リズムを意識しながら読むように</p> <p>会話になるように</p> <p>リズムを意識して会話らしくなるように</p>
発展	ペアで発表	アドバイスする	前に出て来て、プリントの会話を発表する (オリジナルではない)	リズム・動きが英語にあっているか
まとめ	<p>次回へのアドバイス</p> <p>あいさつ</p>	<p>教師が、発表のペアについてコメントをまとめながら次回のスキットについての注意点を述べる</p> <p>英語であいさつする</p>	<p>次回へのポイントを確認する</p> <p>英語であいさつする</p>	<p>評価基準をはっきりさせる</p> <p>元気よく</p>

Date : Thursday, February 18, 1993

Class : 2-C, Wada Junior High School, Sugunami Ward, Tokyo

Text : Lesson 12 (1)-(4), New Crown English Series Book 2

Allotment :

1st period : Comparatives of adverbs

2nd period : Superatives of adverbs

3rd period(Today's lesson) :To grasp the gist of the whole story

4th period : Reading of § 1 and 2

Teaching Procedure :

Procedure	Students' Activities
1 Greeting Casual Conversation	Greet with the T. Answer T's questions.
2 Warm Up Bingo Game (Adjective Bingo)	Play the game. Shout 'BINGO!' when a line has been completed. Put up their hands. Write down both his/her own score and his/her partner's one.
3 Warm Up Karaoke	'Today's Singers' come to the front of the room. Sing along with karaoke.
4 Review Paced Reading Shadowing	Read p.73 of the textbook simultaneously along with the CD. (with the books open) Follow the CD's voice trying not to look at the textbooks.
5 Review Role-playing (Fixed Pair Work)	Make pairs and decide who to be Dog and Cat. Start role-playing. Change roles.

5th period : Reading of § 3 and 4

6th and 7th period : Writing Japanese folktales in English.

Aims of this period :

- 1 To help students grasp the gist of the whole story
- 2 To revise the comparatives and superlatives of adjectives through a fun activity.

Teaching Aids : LD player, Monitor TV, CD repeater, VTR, word cards, work sheets, audio tape

Evaluation :

A...Attitude

E...Expression

U...Understanding

LC...Language/Culture

Teacher's Help/Guide	Remarks/Evaluation
<p>Greets students. Asks students about the 'ski school'.</p>	<p><u>A</u>/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u> T nominates several Ss</p>
<p>Makes sentences improvisingly using words in each column. Declares the winner. Asks how many bingos they have got.</p>	<p>A/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u> T tries to make sentences as quickly as possible.</p>
<p>Plays the LD. Sings along with karaoke. (Top Of The World)</p> <p>Plays the CD.</p> <p>Plays the CD again. Puts enough pause between the sentences so that Ss can follow them.</p>	<p><u>A</u>/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u> T praises Ss' voices.</p> <p>A/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u></p>
<p>Distributes role cards. Monitors the language used during the work. Helps each pair. (especially slower pairs.)</p>	<p><u>A</u>/<u>E</u>/<u>U</u>/<u>LC</u> T evaluates Ss using other language items learned before.</p>

Procedure	Students' Activities Listen to T and understand what they are going to do.
<p>6 Introduction of New Materials</p> <p>Top Down Listening</p>	<p>Listen to an audio tape and guess what language is spoken in it.</p> <p>Listen to the CD and answer Question No.1 & 2. (First Listening Stage)</p> <p>Say "Stop!" when they don't know the meaning of any word.</p> <p>Try to understand the meaning of words with a help of T's gestures or Japanese translation.</p> <p>Watch the VTR with the work sheet turned over.</p> <p>Answer Question No.3. (Second Listening Stage)</p> <p>Listen to the sound of the VTR and fill in the blanks of Question 4 with appropriate words. (Third Listening Stage)</p> <p>Check their answers with T. Ss make groups and each group chooses a leader.</p> <p>Group members go to seven places, get information and report it</p>
<p>7 Review of Comparative and Superative Group Work</p> <p>Game "Who's the criminal?"</p>	<p>to each leader. Each leader takes a memo while hearing the information and identifies the criminal.</p> <p>After the leader finds the criminal, he/she must write a report to T</p> <p>Play another round if time allows. Listen to T and take a memo.</p> <p>Greet.</p>
<p>8 Assignment and Greeting</p>	

Teacher's Help/Guide	Remarks/Evaluation
<p>Talks about Japanese old folktales and tells Ss what they are going to listen is our neighbouring country's story.</p> <p>Plays the audio tape in which a Korean student reads the story in her own language.</p> <p>Asks Ss what language is spoken in it.</p> <p>Distributes the worksheets and explains how to work on them.</p> <p>Plays the CD. (for First Listening)</p> <p>Shows the 'so-called' new words of the lesson to Ss. Shows the other side of the card when anyone of Ss says, "Stop!" Or reminds Ss of the meaning of the word by using gestures.</p> <p>Monitors Ss' individual work.</p> <p>Plays the VTR. (for Third Listening)</p> <p>Tells Ss correct answers.</p>	<p><u>A/E/U/LC</u></p> <p>Ss should not hesitate to say "Stop", though some of the words were</p> <p>Ss take a memo while watching the video.</p>
<p>Explains how to play the game.</p> <p>Gives each leader a written clue.</p> <p>Reads reports and declares the winning team. (Reports must be grammatically correct!)</p>	<p>This is the second time for Ss to play this game .</p> <p>T should mention the previous troubles and how to overcome them</p>
<p>Talks about next lesson and homework.</p> <p>Greets.</p>	

授業 9 (日台)

この指導案はデータ処理中のため省略しています。

授業10 (伊地知)

授業過程	生徒の活動	教師の働きかけ	注意点
1 あいさつ	あいさつをする	あいさつをする 今日の調子はどうか聞く	
2 ビンゴ	その単語をチェックする 5本そろったら「ビンゴ」と言う	単語を読み上げる クラスの半分以上がビンゴするまで、単語を読み続ける	最初の生徒にシールをあげる
3 歌	「Top of the World」を歌う	ビデオをつけて、ビデオに合わせて歌うように言う	
4 復習 ペアワーク	パイロットや警察官の描いてあるシートを使って、単語と英文を練習する 相手の選んだものを当てるまで交互に質問しあう 勝った方はアメリカ地図に色を塗る	want to be を使って「将来～になりたいですか」という英文を練習させる 隣の人とペアを組ませ、相手の選んだものを当てさせる ペアワークが終了したものは短文76を書くように指示する	
5 リスニング	76番の英語を思いだし、意味を考える 77番を聞く準備をする 集中して英語を聞く 教師のヒントを参考に、音を聞いて、状況を考えて、また音を聞く作業を繰り返す	前回やった76番を聞かせ何と言ったかももう一度尋ねる 生徒が思い出したのを確認し、次の77番を聞かせる状況に継続性があることを述べる ホテルに泊まっている客が言った英語であることを教え、英語または日本語訳を答えるように説明する 手を挙げたものだけ、指名する	当てた生徒にはボーナス得点をあげる

<p>6 単語と 英文の復習</p>	<p>フラッシュカードを見て前 回の単語の復習をする</p> <p>教科書の音読をする</p> <p>みんなの前で読む気になっ た者は手をあげる</p>	<p>フラッシュカードを用いて 前回の単語を復習をさせる</p> <p>教科書の音読をさせる</p> <p>みんなの前で読む人を募る</p>	<p>積極的に手を あげて読んだ 者にはボーナ ス得点を与え る</p>
<p>7 導入 リスニング</p>	<p>テープを聞いて、聞こえた 単語を発表していく</p>	<p>新しいセクションのテープ を聞かせ、聞こえた単語を 言わせる</p>	<p>本文導入はリ スニングから 入る</p> <p>時間の関係で 大ざっぱに聞 いて終わる</p>
<p>8 スキット</p>	<p>ビデオのモデルスキットを よく見る</p> <p>すでにできているペアで、 スキットの練習をする</p> <p>自席にもどる</p> <p>水曜日にスキットの発表が あることを確認する</p>	<p>ビデオをつけて、今回のス キットのモデルを見せる</p> <p>ペアをつくって、スキット の練習をするように指示す る</p> <p>時間なので自席にもどるよ うに指示する</p> <p>水曜日にスキットを録画す るので、よく練習して来る ように指示を出す</p>	
<p>9 あいさつ</p>	<p>あいさつする</p>	<p>「今日はここまで」という ことで、あいさつする</p>	

授業 1 1 (米田)

授業課程	生徒の活動	教師の働きかけ	注意点
1、 あいさつ 出欠確認 (2 分)	あいさつをする 今日の調子はどうか聞く 元気だと答える 欠席者の名前を答える	あいさつをする 元気だと答え、みんなはどうか聞く 欠席者がいるかどうか尋ねる	
2、 復習 1 口頭練習 (5 分)	ピクチャーカードを見ながら、which を使って関係代名詞の目的格を復習する which を使わない場合について復習する	ピクチャーカードを見せながらポイントになる部分を日本語で説明し、確認していく which を省略する場合について指示をし、確認をしていく	どこをどう説明しているのか確認する
3、 復習 2 (10 分)	Lesson 6 Section 2 の本文を読む テープについて読む 各自で 3 回通し読みする	Lesson 6 Section 2 の本文を読む テープをかける	
4、 確認 本文読み (10 分)	ワークブックを開き、確認後、問題に取り掛かる	ワークブックの L6-2 を開か せ、ポイントを確認し、問題に取り掛からせる	

授業課程	生徒の活動	教師の働きかけ	注意点
	<p>指名された生徒は、立って本文を読む</p> <p>終わった生徒は前時の問題の答え合わせを行う</p>	<p>問題をやらせている間に、指名カードを取り出し、順に当てて本文を読ませる</p> <p>約5分後、10名の生徒が読み終えたところで指名読み終了</p> <p>机間巡視をして、でき具合を確認、遅進児にアドバイスする</p>	
<p>5、 新出文法説明 (5分)</p> <p>6、 口頭練習 (7分)</p>	<p>説明を聞き、ポイントをマークしてノートに貼る</p> <p>絵からその内容をつかむようにして口頭練習</p>	<p>プリントを配りL6-3の文法を説明</p> <p>ピクチャーカードを使って口頭練習させる</p>	<p>現在分詞の意味を確認</p>
<p>7、 新出単語書取 (10分)</p>		<p>新出単語の読み合わせと意味を確認後、2、3分練習時間を与え、書取を行う紙を集めるように言う</p>	
<p>8、 あいさつ (1分)</p>	<p>あいさつする</p>	<p>あいさつして終わる</p>	

授業12（土居）

授業過程	生徒の活動	教師の働きかけ	注意点
1 あいさつ 日常会話 (1分)	あいさつをする それぞれ答え、先生に質問する 天気、曜日、日付を答える	英語であいさつする 今日の調子はどうか聞く 天気、曜日、日付を聞く	元気よくあいさつできたか
2 単語チェックテスト (7分)	単語を聞き取り用紙に記入する 生徒同志で、チェックしあう	用紙を配り、生徒に指示する 単語を英語で読み上げる 時間を取り、答を言う	
3 ビンゴ (3分)	単語を聞き取り、5本そろったら「ビンゴ」と言う 班で得た本数を報告する	単語を読み上げる 7回読み上げて終わる 何本そろったかグループで数えさせる	スピードをつけて読む 最初と最高本数のグループにシールをあげる
4 カラオケ (3分)	「TOP OF THE WORLD」を歌う	歌詞カードを出しテープに合わせて歌うように言う	リズムにあわせて歌う
5 S+V+Wh-節の語順の説明 (14分) ・ Pattern practice	積極的に参加し、大きな声で発表する	口頭による導入をする (例を提示) 要点を板書する 口頭による練習をする	わかりやすい表現を使い、全員が理解できるようにする

<p>・ノートに 写す</p> <p>・練習をする</p> <p>・インサート による実際の 質問をする (7分)</p>	<p>ていねいにノートに 記録する</p> <p>ノートに写し終わった ものからプリントの 問題を解く</p> <p>まわりの人にインサ ートをしシートを完成させる 終わったら提出する</p>	<p>ノートに書き取らせる</p> <p>机間指導をし、ノートの 点検をする</p> <p>プリントを配り、問題を 解かせる 机間指導をし、正しく 理解されているかを見る</p> <p>やり方を説明する 正しい使い方ができて いるかどうか確認する</p>	<p>正しく書き取ら せる</p> <p>場面を想像しな がら言えるか</p>
<p>6 Oral introduction</p> <p>教科書を読む (52ページ)</p>	<p>聞いている</p> <p>モデルを聞いて はっきりと大きな声で 発音する</p> <p>ペアを組んで、発音の チェックをする</p>	<p>口頭により教科書の概要 を説明する</p> <p>新出単語・語句の練習を をする 単語の意味の確認をする</p> <p>お互いの発音のチェック をするように指示する</p> <p>机間指導をし、個々の発 音をチェックする</p>	<p>わかりやすい語 句を使用する</p> <p>テンポよく、繰 り返し練習する</p> <p>全員が正しく言 えるか</p>
<p>7 あいさつ (1分)</p>	<p>あいさつをする</p>	<p>宿題の提示 あいさつをして終わる</p>	

(6)資料 2 各授業の未習語リスト一覧(授業8をのぞく)

授業1(1年1学期)

all right day of week Shall enjoy Bingo Raise hands many lines do Let's give big hand Next time please write same page Please look Can you sing without looking lyrics show me going to study listen answer questions First 29 years old think about know in volleyball club have so pictures don't have stand I'll you hint Once again pair work yet says watch videoBut never speak Japanese Read after practice reading with partner individually open textbook page write homework So much for See tomorrow nice day

授業2(1年2学期)

nervous Because guests Repeat please Take it easy heart ask weather How cloudy right Answer question next date November Fifth Excuse Can and so on raise hand Sure want radio about beg sweets wife of course Nobody take outlook at blackboard write down check spelling correct Sixth By the way number into bus ready Here we go Count how many have you got highest score Congratulations should draw or can pair work before more Pay attention to accent Again something guess bonus point If hit will give group come on Ah sorry a pair of handout At first top sound choose circle neighbour luckystart partner's last collect papers along sing Well stand up All together sit down I see theme best what you want Turn over must interview take a memowhen finish share For example seats wait report Reporter can't hear use members leader tell put your desk back Have you finished dictation test page so much for Have a nice day

授業3(1年2学期)

got let's let's play Here we go a big sticker's waiting Shall we play one more Let's go let's I'll read Ken's part try without books We gonna play pairwork You can do, you can choose anything as much as you want fill the blank interesting mystery writer we gonna watch a video of a skit let's see what they are doing

授業4(1年3学期)

nervous Because guests Now repeat heart so calendar week today tomorrow was yesterday All right before Again so next corner answer about handsome and so on think maybe wrestling Do you think he is young? I see time professional I'll give you one question birthday Where in Sumida season alcohol wife kick-boxing ping-pong I beg your pardon? How about you? take out Bingo by the way number write down only check correct fourth Twenty-fourth repeat can Station ready Shall we Count how many have you got highest raise your hand Clear quiz should say Turtle Well Snake So pay attention to lips Fish Chicken ButterflyCrab Put into Mosquito accent

Kangaroo Parrot Penguin start answer I'll give you many hints if hit minus bird fly
eats cold country group jump baby Australia Sorry long legs slowly Last by
Beatles best singer blackboard talking like For example rice bread eggplant radish
True False Because imagine sentence spelling guess page Especially Now tape
times double circle try Excellent together return line enough time star mark begin
up Stop Raise handsd stress intonations how to pronounce heard pronounce silent
when finish once Perfect must dictation test So much for today Good luck .

授業 6 (1 年 3 学期)

sorry Well there absent tell Anyone else sheet take out number right spell ready Shall we
Congratulation stop Will you guess vegetables Carrot Cucumber Pumpkin Radish Onion I'll
give hint color purple eggplant fruits pocket Grape strawberry Pineapple green white black
When spoon Kiwi sheet more Here you are write down Are you ready repeat How to
situation part P.E. turn round face to face make in pairs next partner go back seat count
total points More Excellent step Last Well done Super Stop reading stars Great again title
delicious TV programs look up each other win times blackboard Raise hand cards limited
holidays There's bell tomorrow

授業 7 (2 年 2 学期)

a little bit Maybe gym date not yet champion Conglaturations sticker memorize sheet finish
topic Repeat dialogue choose winner even pair loser do better next time have to do something
Guess hint Sounds Anybody find out the department store useful presentation loudly voice the
time is up

授業 8 (別掲 15 ページ 参照)

授業 9 (3 年 1 学期)

chime usual I'm very surprised that before rows stand stand stand tell to this afternoon pretty
good take your seats said to you Hmm Will you please there you are in this case I'm here or
over here great pass it back to usual questions absent Will you absent I beg your pardon usual
Sorry to remember checked turn usual Yes, please Let's see out loud One more time today's
Excellent what is like humid practice take out just ast word there you are score sheet Score
sheet check are up to Show or more Yeah plus copy fill in sheets ask to have a look at
handwriting stop writing Ahmm share demonstration afterwards pronounce get to one more time
choose hang on a minute get to point to Everybody Let's see bottom reading pretty good speak
out loudly a little clearly loudly review grammar point pair work sheet every second row
indeed Extra pronounce it's me Your turn technical subjects social studies choose model check

meaning mark underline checked at least memorize look up last boy own partner classroom
demonstrate select partner maybe it to pretty good I think so make pairs change answers
marker Yeah side quite comments clearly flow naturally classmates try to natural flow have
a break for a while look up skits recorded selected chose finally decided on Uh huh have a look
at week relax quiet chance late for carefully play-acting is over dialogue clearly mumbling
as usual turn over close swimming pooljump into pool jumping into jumped into paintbrush in
between climb climbing climbed describe chalk blackboard carrying quite a few we'd like to
hang on a minute choosing Get to dropped practice devide rows Turn round screen switch off
conclude See you again move

授業10 (3年1学期)

winner review continual volunteer medical conditioner double bonus record

授業11 (3年2学期・今回の授業では未習語はなし)

授業12 (3年2学期)

clear sheets usual That's it exchange check collect back take out Count winner Excellent
Bless you carefully Raise Pardon Pay attention careful job meaning tape check Louder pairs
pronunciation I want you to read twice.

. 参考文献

- **Byrne, Donn** *Techniques for Classroom Interaction* (1987. Longman)
- **Chaudron, Craig** *Second Language Classrooms* (1988. Cambridge)
- **Ellis, Rod** *Understanding Second Language Acquisition* (1989. Oxford University Press)
- **Gains, Ruth and Redman, Stuart** *Working with Words* (1990. Cambridge University Press)
- **Hidai, Shigeyuki** *A study of Techniques for Teaching Vocabulary in a Lower Secondary School*
(1991. the University of Nottingham)
- **Hughes, Glyn S.** *A Handbook of Classroom English* (1981. Oxford University Press)
- **Kitahara, Nobuaki** *A study on Pair Work and Group Work* (1989. University of Exeter)
- **Krashen & Terrell** *The Natural Approach* (1985. Pergamon / Germany)
- **Kitashima, Mary & 奥田 夏子** 『楽しい教室英語』 (1961. 大修館書店)
- 松香フォニックス研究所 『40時間でフォニックス』
(1988. 松香フォニックス研究所)
- **Norman, Levin & Hedenquist** *Communicative Ideas*
(1986. Langauge Teaching Publications)
- **Sinclair, J. McH. & Brazil, D.** *Teacher Talk* (1982. Oxford University Press)
- 高梨 庸雄 他 『教室英語活用事典』 (1992. 研究社出版)
- 東京都中学校英語教育研究会・研究部 『外来語と英語教育(1)～(7)』
(1977 - 1984)
- 東京都中学校英語教育研究会・研究部 『外来語と英語教育(8)～(16)』
(1985 - 1991)
- 梅田 修 他 『学習者中心の教室英語』 (1989. 大修館書店)
- **Willis, Jane** *Teaching English through English* (1991. Longman)
- 文部省 『中学校指導書 外国語編』 (平成元年7月. 開隆堂)
- 三省堂編修所 『コンサイス カタカナ語辞典』 (1994. 三省堂)
- 竹蓋 幸生 編著 『英語科のCAI』 (1986. エデュカ株式会社)

・編集後記

過去2年間にわたる TEACHER TALK の研究の成果により、部員各自が自分の授業分析の資料を比較的容易に提出することができた。従って、今年度の研究は効率よく進めることができた。コンピュータに精通している伊地知氏の加入も研究部としては心強かった。現に、今年度からの研究では膨大な TEACHER TALK のデータを収集し、分析及び処理をすることになった。540 メガのハードディスクを購入したが、ここに集積されたデータは研究部ばかりではなく、東京都中学校英語研究会の大いなる財産となるでしょう。

ここ数年、研究部員にはそれぞれの分野のスペシャリストが集まった感がある。コンピュータ及びプログラミング、タイピング、資料収集、編集等、部員それぞれの特技を発揮して研究を進めることができることは、頼もしいかぎりである。

今年度も、ご指導、ご助言をいただき、レポート作成にあたってお力添えをいただきました隅部直光先生、塩澤利雄先生、島岡 丘先生、斉藤誠毅先生、青木昭六先生、上田明子先生、若林俊輔先生、金谷 憲先生、福田大昭先生、森永 誠先生、石津谷 進先生、萩野 浩先生、安原修三先生、木村松雄先生方に心から感謝とお礼を申し上げます。また、ハードディスクの購入、研究紀要発行等いろいろな面で中英研の長谷川昇会長ほか役員の皆様には格段のご配慮をいただき、有難うございました。

最後になりましたが、校務で忙しい中、1年間研究を共にした研究部員の皆さん、12月26日、1月7日と、冬の休日2日間を返上し、朝から両国中学校のコンピュータ6台をフルに回転させ、最後の追い込みをした部員の皆さん、また、編集にかなりの時間をかけて研究紀要を完成してくれた杉本さん、本当にご苦労さまでした。また来年も頑張りましょう。

1995 . 2 . 20

研究部長 長 勝彦

本研究に携わった研究員 (東京都中学校英語教育研究会研究部)

長 勝彦 (墨田区立両国中学校)	野口 弘子 (多摩市立東愛宕中学校)
鬼山由美子 (足立区立第九中学校)	備里川正人 (足立区立第十四中学校)
原田 博子 (足立区立第十四中学校)	北原 延晃 (杉並区立和田中学校)
日臺 滋之 (東京学芸大学付属世田谷中学校)	二宮 正男 (狛江市立狛江第一中学校)
鶴田 峰子 (台東区立下谷中学校)	三浦 邦彦 (足立区立第三中学校)
阿久津仁史 (三鷹市立第四中学校)	小坂きみ子 (渋谷区立原宿中学校)
吉岡千恵子 (大田区立出雲中学校)	横山 牧子 (立川市立立川第二中学校)
米田 隆 (板橋区立板橋第四中学校)	杉本 薫 (墨田区立両国中学校)
滝之入道隆 (中央区立佃中学校)	石井 亨 (江東区立南砂中学校)
土居由起子 (足立区立第一中学校)	伊地知義信 (板橋区立向原中学校)